



本テキストは、付属の CD-ROM の
「規格要求事項講習・台本」に収録されています。

環境マネジメントシステム 要求事項

JIS Q 14001:2004(ISO14001:2004)

規格要求事項講習：台本

目次

目次.....	1
目次.....	2
はじめに.....	4
第1講座.....	6
環境マネジメントシステム.....	6
- 要求事項及び利用の手引き.....	6
~ 3.用語及び定義.....	6
環境マネジメントシステム - 要求事項及び利用の手引き.....	7
1.適用範囲.....	9
2.引用規格.....	10
3.1 監査員.....	11
3.2 継続的改善.....	11
3.3 是正処置.....	11
3.4 文書.....	12
3.5 環境.....	12
3.6 環境側面.....	12
3.7 環境影響.....	12
3.8 環境マネジメントシステム.....	13
3.9 環境目的.....	14
3.10 環境パフォーマンス.....	14
3.11 環境方針.....	14
3.12 環境目標.....	14
3.13 利害関係者.....	15
3.14 内部監査.....	15
3.15 不適合.....	15
3.16 組織.....	15
3.17 予防処置.....	16
3.18 汚染の予防.....	16
3.19 手順.....	17
3.20 記録.....	17
演習.....	18
第2講座.....	20
4.環境マネジメントシステム要求事項 4.環境マネジメントシステム要求事項.....	20
4.環境マネジメントシステム要求事項.....	21
4.1 一般要求事項.....	21
4.2 環境方針.....	21

4.3	計画	22
4.3.1	環境側面	22
4.3.2	法的及びその他の要求事項	23
4.3.3	目的、目標及び実施計画	24
4.4	実施及び運用	26
4.4.1	資源、役割、責任及び権限	26
4.4.2	力量、教育訓練及び自覚	26
4.4.3	コミュニケーション	29
4.4.4	文書類	30
4.4.5	文書管理	32
4.4.6	運用管理	33
4.4.7	緊急事態への準備及び対応	33
4.5.1	監視及び測定	34
4.5.2	順守評価	35
4.5.3	不適合並びに是正処置及び予防処置	36
4.5.4	記録の管理	36
4.5.5	内部監査	37
4.6	マネジメントレビュー	38

はじめに

1. 規格要求事項：台本の説明

この台本は、「ISO14001：2004 規格要求事項の解釈講習」を効果的に実施するために作成されています。この台本には、【台詞】が書かれています。一流の役者になったつもりで講師役を演じて下さい。

2. 台本の基本構成

(1)講師担当

「規格要求事項の解釈講習」における講師の台詞の部分です。

また、講師に対する指示としては、下記のような（ ）書きで記載しています。

- （質問する）
講師が参加者に対して質問するための台詞が書かれています。
- （ホワイトボードに書く）
ホワイトボード、又は黒板に書く内容に関して書かれています。

第1講座「4. 品質マネジメントシステム」	
実施者	(講師の自己紹介をする)
講師担当	要求事項の解釈講習を始めます。普段、聞き慣れない言葉が多く大変実施していきますので、よろしくおそれでは、私ばかり話しているとも目ざつ読んで頂こうと思います。そ
	(4.1が読み終わる)
解説	一般要求事項は、言葉が抽象的で、

台本の基本構成

(2)解説

講師から参加者に対しての質問に対する解説です。講師は、講習の実施前にこの部分を熟読し、理解した上で実施することが望ましいでしょう。

解説の中には、規格の解釈と直接関係はありませんが、参加者の理解を深めるために効果的な余談も含まれています。一息つく意味でも、台詞と同様にできるだけご活用下さい。

3. ご活用頂く前に

「ISO14001 解釈講習：台本」をご活用頂く前に、以下の準備を行いましょ。

(1) 質問の回答の準備、回答者の選択をする。

テキストの各箇所に質問が用意されています。質問をする意図は、
 受講者自身が ISO と自分の業務との接点を見出せる
 受講者自身が主体となって考える
 眠くならないようにする

です。質問は、解釈講習を実施する際の重要なポイントですので、できるだけその通りに実施して下さい。

講師は、質問を投げかける側となりますので、質問の回答、また回答のポイントを良く理解し、当日には説明ができるように準備しておいて下さい。

(2) ご用意頂くもの

講習を開催するに当りご用意頂くものとしては、
 会場(スクール形式でも口の字型でも可)
 規格要求事項
 ホワイトボード

です。 の規格要求事項ですが、本の写しでなく、A4版で受講する人が手元に持てるようにして下さい。規格要求事項は一時的に規格を解釈するためのものでなく、ISOに携わる上で構築や方向性に迷ったときに立ち戻り、活用するものです。軽視しないで下さい。必要に応じて、環境文書をご用意下さい。しかし、講師は、受講者の方にISOに対する質問をするのではなく、受講者の業務に対する質問をすることになりますので、基本的には必要ありません。

4. 実施方法

- (1) 講師は、当日規格要求事項を受講者に配布します。
- (2) 講師は、受講者に依頼し、規格要求事項を3(用語の定義)～4.6まで1項目ずつ、順番に音読してもらいます。
- (3) 講師は、受講者が1項目読み終わった後に、説明と質問をします。

5. 時間配分

講師は、時間配分に気をつけましょう。時間の目安としては、全体で約5時間とし、6項の資源の運用管理までが行程の半分となります。下記の時間配分を講習実施の目安として下さい。

<各項目の時間配分>

講座番号	項目名	時間の目安
1	要求事項及び利用の手引き～3.用語及び定義	1時間
2	演習+演習の解説	20分+10分
2	4.1 一般要求事項から 4.4.2 力量、教育訓練及び自覚	1時間
2	4.4.3 コミュニケーションから 4.4.7 緊急事態への準備及び対応	1時間
2	4.5.1 監視及び測定から 4.6 マネジメントレビュー	1時間
演習：30分		

第 1 講座

環境マネジメントシステム

- 要求事項及び利用の手引き

~ 3 . 用語及び定義

環境マネジメントシステム - 要求事項及び利用の手引き

実施者	内容
	(講師の自己紹介をする)
講師担当	<p>ISO14001:2004 要求事項の解釈講習を始めます。本日、講師を担当する < > です。</p> <p>普段、聞き慣れない言葉が多く大変かと思いますが、少しでもご理解頂きやすいように実施していきますので、よろしくをお願いします。</p> <p>早速ですが、お手元の要求事項を見て下さい。表紙、まえがき、目次があり、1 ページ、2 ページ目、そこに PDCA の図があります。PDCA の図を見て下さい。これが ISO14001 の全概要になります。覚える必要はありません。ぼんやりとこんなものかなと思っていたらそれだけで結構です。少しだけ解説をするとまず、環境方針があります。環境方針に示された方向性に近づくように計画を立て、実施し、運用するということになります。計画通りに実施、運用できているか内部監査などで点検し、その結果をマネジメントレビューで社長に報告します。その結果を受けて、社長は環境方針を見直し計画を立てという継続的改善の流れに乗っていくという感じです。</p> <p>続いて、3 ページの 2 段落目を見て下さい。2 段落目を < > さん、読んでいただけますか？</p>
	(読み終わる)
講師担当	<p>ありがとうございます。じゃあ、手始めに、簡単な読解問題をやりましょう。ここはどんなことが述べられていますか？10分考えて下さい。</p>
	(10分間、時間を取る)
講師担当	<p>< > さん、どんなことが書かれていますか？</p>
	(2人くらいに意見を聞いてみる)
講師担当	<p>ここで述べていることは、大前提としてこの規格には、環境基準はないということです。「CO2 の排出を %いないにしなければならない」とか「電気の使用量を kwh にしなければならない」ということを言っています。</p> <p>もう1点は、同業種同規模の組織が仮にあった場合で、環境に与える影響が異なっても要求事項に適合することがあるということです。どちらも審査を通すでしょうということです。</p> <p>3段落目も重要ですので、読んでおきたいと思います。</p> <p>< > さん、読んでいただけますか？</p>
	(読み終わる)
講師担当	<p>続いてここも読解問題としてやってみましょう。ここはどんなことが述べられていますか？</p> <p>10分考えて下さい。</p>

実施者	内容
	(10分間、時間を採る)
講師担当	< >さん、どんなことが書かれていますか？
	(2人くらい意見を聞いてみる)
講師担当	<p>ここでは、2つのことが述べられています。</p> <p>まず1点は、先ほどと重なっていますが、「この規格の採用が、最適な環境上の成果を保証するわけではない」ということ。つまり、環境ISO取得すると、(まるまる)だけ環境が改善しますという保証していませんということです。</p> <p>2点目は、環境活動をする場合、「費用対効果を見なさい、経済的に可能な範囲で最も良い環境活動をなさい」ということを言っています。</p>
講師担当	続いて< >さん、1.適用範囲を読んで頂けますか？
	(1項を読んで頂く)